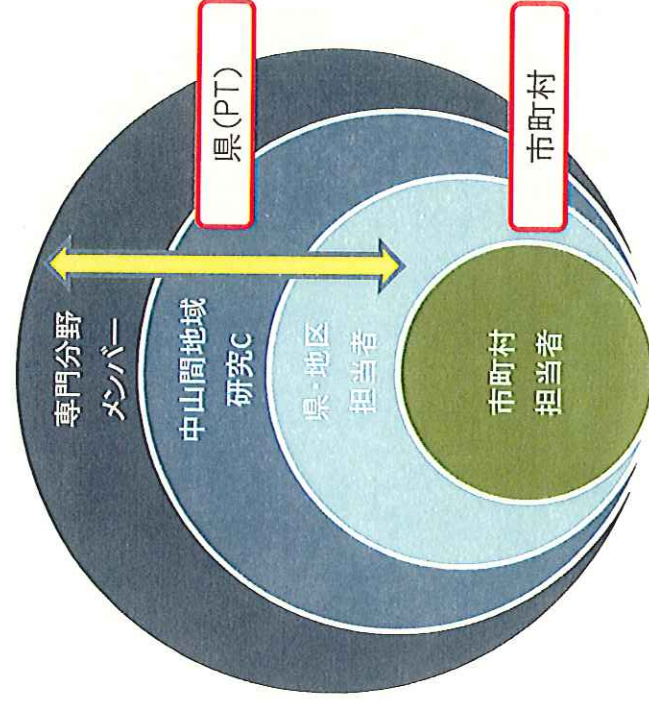


プロジェクトチームの現場支援への関わり方(案)



市町村への聞き取り

○事業計画書を提出する意向がある場合には、地区担当(しまね暮らし推進課、隠岐支庁、西部県民C)を中心に聞き取り。

○個別具体的な事業への支援要請がある場合には、専門分野メンバーへの参加も要請

重点的に実施する地区

○過疎ソフト交付金事業で認定する地区の中で、関与の度合いを強く、濃くするものを「重点支援地区」と位置付け、定期的な現場での協議、広報、助言等を行う。

ex. 年度ごとに1~2地区程度を選定し、2か月に1回程度PTメンバーによる現場訪問を予定(kenchoワゴンの運行?)

各課の連携

○専門分野において、現場支援が各課等で既に行われているものについては、部局連携の視点に立って、「通常業務+α」の取組を進める。

ex. 農村対策の観点から、地区で取り組み事業に対して農林振興センターにも関わってもらうことはできないか?

・買い物対策
(中小企業課、
商工労政事務所)

・6次産業化
(ブランド推進課)

・遊休施設の利活用
(しまね暮らし推進課)

・新エネルギーの活用
(地域政策課、林業課、
中山間地域研究C)

・移動手段の確保
(交通対策課、地域
福祉課)

・担い手の確保
(農業経営課、
農業大学校、
定住財団)

・組織の立ち上げ
(中山間地域研究C、
NPO活動推進室、
しまね暮らし推進課)

資料

1

地域間交流のコーディネート

○事業実施地区と状況の類似している、或いはモデルとなる地区の視察、講師紹介、情報提供等を各課のノウハウを持ち寄ってコーディネート

過疎（中山間）地域自立促進特別事業 申請状況等について

☆計画書の提出があった地区

No.	市町村名	地区名	分類	事業主体	事業内容	目標	事業期間及び事業費	特記事項	意見（案）	各課の関わり
1	美郷町	別府	厳しい地区	・別府地域連合自治会 ・NPO法人別府安心ネット ・農事組合法人小松地営農倶楽部	（連合自治会） ○石見銀山街道を主体とした里歩きコースの選定、ガイド養成、花街道づくり （NPO法人） ○過疎地有償運送（免許取得）、資源調査及び活用計画の策定、6次産業化を目指した生産連携及びネット販売 （農事組合法人） ○餅、酒、ソバ、椎茸を活用した交流事業	○平成27年国調人口をプラスに ○共存、共生、共助の絆を深め、定住者と来訪者が協力して「美しい花の里づくり」を進める。 ○6次産業化を通じて、生きがいづくりと地域の創造力を高める。 ○NPO法人、農事組合法人の事業を推進し、Uターン者の受け皿づくりと魅力的なコミュニティづくりを強力に推進	平成24年度 3,000千円 平成25年度 3,000千円 平成26年度 3,000千円	○美郷町は事業主体を一つに限定せず、町、地区、NPO等の協定に基づく事業スキームを構築し、スムーズな連携を図ることで事業を推進する。 ○本事業と連動する形で、平成25年度には6次産業センターの整備、平成26年度には若者定住住宅の整備を予定	○中山間地域の中では比較的若い世代が地域に定住している。また、今年4月にNPO法人を設立し、事業に意欲的に取り組もうとしている。 ○町、地区、NPO等が協定を結び、連携して事業に取り組む点はモデル性を有している。 ○過疎地有償運送という「守り」の取組だけではなく、6次産業化といった「攻め」の取り組みに着手する点も評価できる。	【交通】過疎地有償運送（免許取得） 【農業経営、農畜産、ブランド】6次産業化を目指した生産連携及びネット販売 【農業経営、農畜産】餅、酒、ソバ、椎茸を活用した交流事業
2	江津市	黒松	厳しい地区	・黒松自治区推進協議会	○空き家対策（市と連携した移住への取組） ○黒松海岸の一面で浜防風を栽培し、直売所（サンビコごうつ）で販売 ○海産物を中心とした食のイベントを開催 ○黒ナマコの加工乾燥作業を遊休施設となっている漁協事務所を活用して実施 など	○活力あるまちづくりの推進 ○地域の連帯性を深める活動の推進 ○生涯学習、健康づくりの推進 など	平成24年度 1,900千円 平成25年度 1,020千円 平成26年度 920千円	○黒松港海苔漁場の再生とそれを活用した海苔製品の開発研究を今年度他事業で進める予定	○交通空白地の割合が高いが、取組の内容は生産・加工、連帯感の醸成を図るものを中心。地域交通の確保を図る必要はないか。 ○各產品の栽培指導や、経営計画の策定等を促す必要はないか。	【しま暮ら、定住財団】空き家対策（市と連携した移住への取組） 【農業経営、農畜産、ブランド】浜防風栽培、直売所（サンビコごうつ）販売 【水産】黒ナマコの加工乾燥

☆計画書の提出を準備している地区

No.	市町村名	地区名	分類	事業主体	事業内容	目標	事業期間及び事業費	特記事項	進捗状況
3	雲南市	塩田	厳しい地区						9月中の提出見込み
4	雲南市	中野	モデル地区						9月中の提出見込み
5	雲南市	吉田	厳しい地区						9月中の提出見込み
6	雲南市	未定	—						9月中の提出見込み
7	雲南市	未定	—						9月中の提出見込み
8	飯南町	谷	厳しい地区						9月中の提出見込み
9	海士町	海士	モデル地区						10月中の提出見込み
10	津和野町	未定	—						年内の提出見込み
11	津和野町	未定	—						年内の提出見込み
12	津和野町	未定	—						年内の提出見込み

☆その他、今年度も含めた検討の動きがある市町村

益田市 → 平成24年度から公民館単位での地域自治組織の立ち上げのため準備中。25年度からは既存の地域向け補助金等を一括りにした新たな補助（交付）金を創設予定。これに併せて、25年度着手を念頭にエントリー見込み

※モデル地区 → 他地域のモデルとして、大いに伸びることが期待される地区

厳しい地区 → 状況がより厳しい地域で、支援を必要とする地区